



「地域防災力向上シンポジウム」の実施結果について

地域防災室

《はじめに》

地域防災力の充実強化を図るため、地域住民や自主防災組織、企業、教育、医療・福祉など地域の特性に応じた様々な主体が力を発揮し、お互いに連携協力するとともに、地域防災の新たな担い手として期待される女性や学生の消防団員の活躍を促進させ、地域防災についての理解を深めるため、平成28年度消防庁事業として全国6箇所で「地域防災力向上シンポジウム」を開催いたしました。本シンポジウムでは、開催地の特性や課題を下にテーマを設定し、先進的な事例の発表や、様々な主体からパネリストを招き、パネルディスカッションを通じて参加者と一緒に地域の課題と今後の地域防災のあり方について議論を深めました。

《1 京都会場》

「地域防災力向上シンポジウムin京都2016」

～亀岡発 防災・減災の取り組みから学ぶ、災害に強い人づくり～

日 時：平成28年9月3日（土）13:30～16:20

場 所：ガレリアかめおか（亀岡市）

参加人数：約400人

【基調講演】

藤田正治氏（京都大学防災研究所/流域災害研究センター教授）

「土砂災害から身を守る～避難のためのシミュレーション～」

【事例発表】

芦田裕子氏（亀岡市消防団つつじ分団分団長）、北川顕良氏（京都市北消防団楽只分団副分団長/佛教大学大学院生）、中野勇氏（亀岡自衛消防隊連絡協議会理事/大本本部）

【パネルディスカッション】

「地域の災害特性に応じた防災・減災対策」

コーディネーター：竹内弘一氏（KBS京都アナウンサー）

パネリスト：桂川孝裕氏（亀岡市長）、芦田裕子氏、

飯尾能久氏（京都大学防災研究所地震予知センター教授）、加藤俊彦氏（亀岡自衛消防隊連絡協議会副会長/ニチコン亀岡(株)）、鶴田昂宏氏（京都学生消防防災サークル「京都学園大学FAST」代表）、牧野吉明氏（亀岡市篠町自主防災会会長）



藤田正治氏による基調講演



芦田裕子氏による事例発表



パネルディスカッションの様子

《2 徳島会場》

「地域防災力向上シンポジウムin徳島2016」

～昭和南海地震から70年 南海トラフ地震を迎え撃つには地域が原点～

日 時：平成28年11月9日（水）13:30～16:50

場 所：徳島グランヴィリオホテル（徳島市）

参加人数：約600人

【基調講演】

古村孝志氏（東京大学地震研究所教授）

「南海トラフ地震に備えて～過去の震災から学び、未来に活かす～」

【事例発表】

瀬戸興宣氏（美波町阿部自主防災会事務局長）、山本栄氏/國方圓巳さん/原田明依さん（阿南市立津乃峰小学校）

【パネルディスカッション】

「いざという時、助かる命を助ける、地域の草の根活動」

コーディネーター：飯泉嘉門氏（徳島県知事）

パネリスト：金澤二郎氏（鳴門市うずしお少年少女消防クラブ代表）、久保良子氏（三好市三野町消防団女性分団班長）、林正敏氏（社会福祉法人悠林舎理事長）、保岡千里氏（徳島市婦人防火クラブ連合会会長）、樫森大知氏/芳川唯佳氏（那賀高等学校防災クラブ）



古村孝志氏による基調講演



阿南市立津乃峰小学校による事例発表



パネルディスカッションの様子

《3 青森会場》

「地域防災力向上シンポジウムin青森2016」

～来る人口減少時代に、その一歩が大切！ 地域一丸となった防災・減災への備え～

日 時：平成28年11月15日（火）13:00～16:10

場 所：青森国際ホテル（青森市）

参加人数：約450人

【基調講演】

瀧本浩一氏（山口大学大学院創成科学研究科准教授/消防大学校客員教授）

「はじめよう！ みんなで防災！～過去から学び、未来へとつなぐ災害への備え～」

【事例発表】

深沢栄悦氏（おいらせ町深沢地区自主防災会副会長）、奥田マサ子氏（八戸市豊崎女性消防クラブ会長）、小笠原溪氏（弘前市経営戦略部防災安全課）

【パネルディスカッション】

「県民総ぐるみの防災をみんなで考える」

コーディネーター：瀧本浩一氏

パネリスト：長尾匡道氏（一般財団法人青森地域社会研究所調査研究部長）、野土谷泰大氏（株式会社A O M O R I ロジステック代表取締役社長）、中川原永子氏（五戸町消防団本部付分団長）、太田孝氏（青森市相馬町町会防災会会長）、平井典子氏（弘前大学ボランティアセンター学生事務局）



瀧本浩一氏による基調講演



高木朗義氏による基調講演



パネルディスカッションの様子



岐阜聖徳学園高等学校による事例発表

《4 岐阜会場》

「地域防災力向上シンポジウムin岐阜2016」

～身につけよう 明日につながる実践力～

日 時：平成28年12月18日（日）13:00～16:25

場 所：ソフトピアジャパンセンター（大垣市）

参加人数：約450人

【基調講演】

高木朗義氏（岐阜大学工学部社会基盤工学科教授）

「防災・減災を『わかる』から『できる』へ」

【事例発表】

嶋田喜美子氏（高山市民防災研究会副会長）、岐阜聖徳学園高等学校

【パネルディスカッション】

「災害に備えた地域住民相互の理解と協力」

コーディネーター：高木朗義氏

パネリスト：堀好美氏（安八町中組区長）、高木淳一氏（大垣市消防団本部副団長）、岡山登志高氏（社会基盤メンテナンスエキスパートの会飛騨地域部会副会長）、各務眞弓氏（NPO法人可児市国際交流協会事務局長）、山口太一氏/山下華歩氏（岐阜聖徳学園高等学校）



パネルディスカッションの様子

《5 沖縄会場》

「地域防災力向上シンポジウムin沖縄2017」

～守りたい命の為に地域一体となった対応力を身につける～

日 時：平成29年1月21日（土）13:00～16:15

場 所：沖縄県立博物館・美術館（那覇市）

参加人数：約300人

【基調講演】

瀧本浩一氏（山口大学大学院創成科学研究科准教授/消防大学校客員教授）

「来たるべき自然災害に備える!～みんなで紡ごう地域の防災力!～」

【事例発表】

久高清美氏（沖縄市消防団団長）、大浜知司氏（竹富町消防団団長/竹富町総務課長）

【パネルディスカッション】

「『備え、助け、支えあう』が発揮できる地域社会を創るために」

コーディネーター：瀧本浩一氏

パネリスト：城間幹子氏（那覇市長）、稲垣暁氏（なは市民活動支援センター専門相談員）、山城淳子氏（那覇市消防団第5分団副分団長）、宮城潤氏（那覇市若狭公民館館長）、田畑秋香氏（沖縄国際大学人間福祉学科3年次）



久高清美氏による事例発表



パネルディスカッションの様子

《6 三重会場》

「地域防災力向上シンポジウムin三重2017」

～観光地としての地域防災を考える～

日 時：平成29年1月29日（日）13:00～16:30

場 所：賢島宝生苑（志摩市）

参加人数：約320人

【基調講演】

河野まゆ子氏（株式会社JTB総合研究所主任研究員）

「観光視点からの災害対策」

【事例発表】

村瀬善乃武氏（志摩コーストガーディアンズ会長）、

宍倉秀明氏（株式会社戸田家取締役執行役員・業務支配人）

【パネルディスカッション】

「観光地としての地域防災」

コーディネーター：西村尚美氏（レディオキューブFM三重「防災よっかいち」パーソナリティー）

パネリスト：竹内千尋氏（志摩市長）、河野まゆ子氏、濱村昭雄氏（コーストガーディアンズ委員）、宍倉秀明氏、山本浩美氏（志摩市消防団志摩方面隊特消分団団員）、内藤悠氏（皇學館大学教育学部4年・つながり大作戦前代表）



河野まゆ子氏による基調講演



宍倉秀明氏による事例発表



パネルディスカッションの様子

問合わせ先

消防庁国民保護・防災部地域防災室 吉田
TEL: 03-5253-7561